

# 2021年春学期中の海外留学プログラム実施状況 および今後の見通しについて

新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、大学主催の海外留学プログラムは、実施時の安全性や研修校での受入状況などを勘案し、昨年度以降、全面的な渡航再開には至っていない。2021年10月現在、原則として渡航留学は中止とし、オンラインでの留学プログラムの実施を継続している。

しかし、昨年度と比較すると、ワクチン接種の普及による死亡者数の減少など、明るい兆しもあり、徐々に対面授業に戻り、留学生の受け入れを再開している国・地域もある。

そのため、8月〜9月に出発する秋の派遣交換留学については、全面的な渡航派遣は原則中止としたが、条件を満たす一部希望者については、特別措置による渡航派遣を認める措置をとった。

ただし、特別措置による派遣を希望する学生は、各自で現地の感染状況、感染防止対策、渡航制限の有無や感染症以外のリスクなど、現地での注意事項を調査し、リスクの把握と対策を立てて申請してもらった。個別審査の結果、許可された学生は渡航可能とした。

ワクチン接種率が伸びない、接種が進んでも変異株の再流行が見られるなどの理由から、入国制限の継続や再導入とする国・地域もある。今後の状況についても、依然として自由な海外渡航が再開できる時期の見通しは立っていない。

留学希望者は、日本および滞在予定国の感染状況や治安面でのリスク、自身の危機管理対応能力の有無なども慎重に見極めながらの渡航留学の計画が不可欠であるとの自覚を持ってほしい。

一方、短期プログラムを中心に、オンラインで

のグローバル教育は各国で急速に導入、活用が進み、感染症収束後も新たな学びのスタイルとしての定着が期待されている。

本学でも休暇中の海外短期プログラムをオンラインで実施。今年の夏期休暇中には海外語学講座7コース、海外短期研修4コース、実践型プログラム5コース、海外インターンシップ科目3件に、計131人の学生が参加した。

「参加費用が渡航時より低く抑えられる」「さまざまな理由から渡航に不安がある場合でも海外

の学びを経験できる」「国内での活動と両立できる」など、オンラインの良さを生かして、夏期休暇中に充実した体験ができたとの声も多く聞かれた。

また、「現地での実体験はできなくても、語学力の向上を実感した」「現地学生とのオンライン交流からさまざまな知見を得た」という報告も多い。

本学では、今後も従来の渡航型にはない、オンラインならではのメリットも取り入れたプログラムの開発を検討する予定である。

## サマーセッション開講

### 15カ国の海外学生が参加

6月14日から7月1日、Summer Session in East Asian Studies 2021を実施した。

昨年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により中止となった本プログラムだが、今年度は初のオンラインでの開催となった(例年同時期に開催しているNo Summer Session in Japanese Languageは中止)。

日本の文化、社会、経済、歴史などに関する4教科と、日本語基礎コースの計5教科が開講。例年参加者が多い中国や北米以外にも、オセアニア、東南アジア、ヨーロッパなど15カ国からの学生たちが連日受講した。

また、課外活動では、落語家の立川志の春氏による英語落語や、今回初の試みとなるバーチャルキャンパスツアーをオンラインで実施し、コロナ禍において本学生と海外からの参加者が交流でき、有意義な機会となった。

終了後のアンケートで「深い議論ができた」「講義の質が高かった」などの意見があり、好評のうちに幕を閉じたことがうかがえた。

なお、海外学生向けに1月に開催するJanuary Session in Japanese Studiesについても、同様にオンラインによる実施を予定している。

## グローバル教育センターからのお知らせ

2022年春学期休暇以降のプログラム募集について

交換留学は10月7日に22年秋出発開始分の学内選考願書の受付を終了した。今後、11月から12月に学内選考を実施し、年内に派遣学生を決定予定。

22年2・3月(春学期休暇中)の海外短期プログラムは、全プログラムをオンラインで実施予定、10・11月に申込受付を行う。

プログラムごとの説明会は、実践型プログラムについては、10月中旬にオンラインで実施する。また、海外短期語学講座、海外短期研修については、オンデマンドの説明動画を公開する。

春休みの短期プログラムへの参加を希望する学生は、説明会参加もしくはオンデマンド動画を視聴したうえで検討してほしい。

なお、グローバル教育センターからの各種案内は、Loyola掲示板上「留学」で検索すると確認できる。各種大学プログラムのお知らせだけでなく、海外の協定校から届くオンライン講座(上智での単位はなし。無料、有料両方あり)や、オンラインでの学生交流機会の案内なども、適宜Loyola掲示板で案内している。グローバルな学びに興味のある方は、定期的な確認を。

■留学カウンセリング  
本学では秋学期中も常駐の留学カウンセラーが留学カウンセリングを行っている。現在はオンラインでの相談となるが、1枠あたり30分の完全予約制で、本学在学学生なら誰でも利用できる。大学の制度に関する質問に留まらず、留学全般の相談も可能なので、積極的に活用してほしい。

## 実践型プログラム 「バンコク国際機関実施研修」

武藤有紀(総グ4)



「学生最後の夏。」という言葉が先日参加したバンコク国際機関実施研修へ参加を決意する原動力となりました。私が参加したものは、タイや近隣諸国であるカンボジア、ラオスで国際機関によって行われている「教育」や「労働」に関する取り組みを学び、それらメコン地域における経済社会課題との関連を自ら考えるという内容でした。

研修の中で非常に印象的だったのは教育を「受けない」という選択肢の存在でした。それはカンボジア教育青年スポーツ省の方からお話を伺った時です。子どもも働くことにより得られる賃金の方

が魅力的に感じるからということでした。カンボジアが国をあげてスキルを持った人材確保に努めているという背景からもこの理由には納得ができました。教育を受けるよりも、仕事を通して生きていくための術を身につけ生活をしていく、確かにそれも一つの生き方だとは思いますが、教育とはスキップしてよいものなのでしょうか? 学生最後の夏に「教育」というものについて熟考しました。答えは未だ考え中ですが、これからの人生をかけて考えていきたい問いが見つかった時間となりました。

## 実践型プログラム 「インドの社会経済・人間開発に学ぶ」

長谷川琴子(法国1)



このプログラムでは、インドのSt. Teresa's College-オンラインでつながり、南インドのケララ州を中心に発展途上国が抱える課題について、政治、経済、人間開発、環境などのさまざまな視点から学びました。また、日本国内のインド関連施設などとも交流し、多文化社会であるインドについて歴史や宗教の観点から深く学ぶことができました。

私がプログラムを通して感じた事の一つとして、政治参加の重要性があります。ケララ州は発展途上国の一部にも関わらず、人間開発において先進国並みの発展を遂げており、

これには市民による積極的な政治活動が大きな役割を果たしています。また、多文化社会で生きるインド人は、お互いを尊重し合いながらも、物事に対する自分の考えを持っていてそれを明確に表現していました。これも多くの日本人に足りない能力だと感じています。

今回、インドについてさまざまな観点から学んだことで、インドに対する理解を深めるとともに日本についても考え直すことができました。世界を学ぶことは視野を広げる良い機会だと思います。これからも積極的に活動していきたいです。

## グローバルインターンシップ(短期) Sophia Global Education and Discovery Co., Ltd. でのインターンシップ 沓名彩花(文英3)



私は約2週間Sophia Global Education and Discovery Co., Ltd. (上智学院がタイに設立する事業会社)でインターンシップをしました。また、多文化社会で生きるインド人は、お互いを尊重し合いながらも、物事に対する自分の考えを持っていてそれを明確に表現していました。これも多くの日本人に足りない能力だと感じています。

今回、インドについてさまざまな観点から学んだことで、インドに対する理解を深めるとともに日本についても考え直すことができました。世界を学ぶことは視野を広げる良い機会だと思います。これからも積極的に活動していきたいです。

インターンの有用性、ファシリテーションスキルを学ぶことができ、自観視するのに貴重な経験となりました。かねてよりさまざまなバックグラウンドや価値観を持っている方々とグローバルな環境で仕事をしたいという思いがあったのですが、今回のインターンシップを通して、そのような思いがさらに高まり就職活動の方向性が明確化しました。それと同時に高校生の時から憧れていた上智大学で学べるこの環境を最大限活用し、勉学にもよりいっそう力を入れたと感じました。有意義なインターンシップを実現させて下さった、関係者の方々に感謝致します。

22年2・3月(春学期休暇中)の海外短期プログラムは、全プログラムをオンラインで実施予定、10・11月に申込受付を行う。

プログラムごとの説明会は、実践型プログラムについては、10月中旬にオンラインで実施する。また、海外短期語学講座、海外短期研修については、オンデマンドの説明動画を公開する。

春休みの短期プログラムへの参加を希望する学生は、説明会参加もしくはオンデマンド動画を視聴したうえで検討してほしい。

なお、グローバル教育センターからの各種案内は、Loyola掲示板上「留学」で検索すると確認できる。各種大学プログラムのお知らせだけでなく、海外の協定校から届くオンライン講座(上智での単位はなし。無料、有料両方あり)や、オンラインでの学生交流機会の案内なども、適宜Loyola掲示板で案内している。グローバルな学びに興味のある方は、定期的な確認を。

■留学カウンセリング  
本学では秋学期中も常駐の留学カウンセラーが留学カウンセリングを行っている。現在はオンラインでの相談となるが、1枠あたり30分の完全予約制で、本学在学学生なら誰でも利用できる。大学の制度に関する質問に留まらず、留学全般の相談も可能なので、積極的に活用してほしい。

